

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月18日更新

事務事業名	小中学校給食提供運営事業(6校共通)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	上山幸顕・安武祐次
	施策	20	義務教育の充実		所属課	学校教育課	担当者名	工藤哲生・花田秀樹・前田美和
	基本事業	63	食育の推進		所属班	学校給食班	(内線)	248-2102
予算科目	会計一般	款10	項2	目1	事業連番10688 他	法令根拠	学校給食法	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
						成果優先度評価結果		: ⑤
						コスト削減優先度評価結果		: ⑨

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	センターおよび単独校の非常勤調理員の募集や配置、給食運営委員会や給食委員会の開催による意見聴取、配送車等の整備、給食に携わる全職員の検便や健康診断の実施など適切に行い、安全で安心できる学校給食を提供している。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	運営委員会(年2回)で給食センターの運営を検討する。給食委員会(年11回)で献立の検討を行う。給食回数約193回、給食調理員(正規6人・嘱託22人)、栄養士(県職)2名で約2,775食の提供を行う。
【主な予算費目】	報酬 職員手当等 報償費 旅費 需用費(消耗品費 修繕費) 役務費(通信運搬費 給食配送車車検手数料 保険料) 検査手数料 食品賠償保険料 使用料及び賃借料 備品購入費 負担金補助及び交付金 公課費
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
安心安全で、栄養バランスのとれた学校給食の提供を行った。	10683『学校給食運営事業』に統合し、その後、単独調理校6校分の『小中学校給食提供運営事業』『単独調理校給食室維持管理事業』を統合する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア:配食数(児童・生徒・教職員)	人 統合による減額。
→イ:	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
児童生徒	(単位) 人
	→ア:児童生徒
	→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
安全で衛生的な給食を食べることが出来る	(単位) %
	→ア:安全で衛生的な給食を食べることが出来る
	→イ:
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
バランスのとれた食事がとれている	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
①活動指標	ア	人	2,520	2,676	2,760	2,775	2,760	2,760	2,760	2,760
	イ									
②対象指標	ア	人	2,290	2,434	2,440	2,571	3,485	3,585	3,685	3,785
	イ									
③成果指標	ア	%	5.2	4.3	4	4	5	5	5	5
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	44,428	48,875	92,027	89,568	30,530	30,000	30,000	30,000
	(A)事業費計	千円	44,428	48,875	92,027	89,568	30,530	30,000	30,000	30,000
(A)のうち指定経費	千円	38,454	42,646	50,190	48,770	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	9	8	10	9	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	27	8	24	23	23	23	23	23
	延べ業務時間	時間	35,520	12,900	48,000	43,000	46,000	46,000	46,000	46,000
	(B)人件費計	千円	144,601	51,393	191,232	171,312	183,264	183,264	183,264	183,264
トータルコスト(A)+(B)	千円	189,029	100,268	283,259	260,880	213,794	213,264	213,264	213,264	

事務事業名	小中学校給食提供運営事業（6校共通）	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	--------------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 食育をさらに推進し、食べることの大切さを教えるとともに、メニューもこれまで以上に工夫して、おいしい給食を提供していく。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 完全給食が実施されており、成果の向上余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 外食産業の弁当利用食の安全性や地産地消の面、食育の面で統廃合・連携はできない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 民間委託によるアウトソーシングの検討を行う。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 民間委託によるアウトソーシングの検討を行う。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市内小中学校の児童生徒が対象であり公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市立学校が対象なので市の役割として適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

退職する非常勤調理員に対応し、新たに非常勤調理員を任用するなど調理の現場を適正に保ち、おいしい給食の提供に努めた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						